

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和5年12月25日（月）

### 2 確認箇所

Dタンクエリア

### 3 確認項目

Dタンクエリアの連結管の取り外し状況

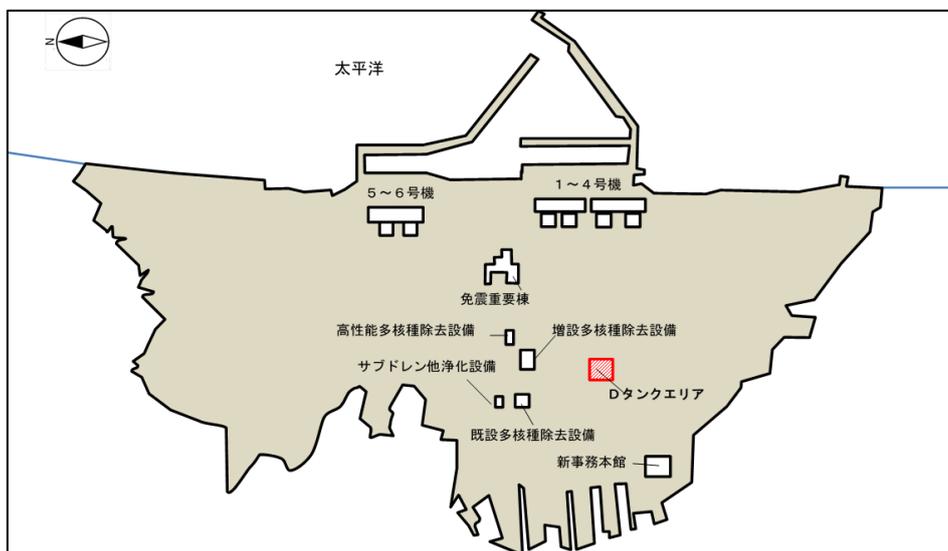
### 4 確認結果の概要

Dタンクエリアにおいては、令和3年2月13日及び令和4年3月16日に発生した本県沖を震源とする地震により、タンクが滑動し、連結管の一部でメーカー推奨値を超える変位が生じた。東京電力では、漏えい防止の観点から、当該連結管を取り外し、連結弁に閉止フランジを取り付ける措置を講じている。[\(令和4年7月12日現地確認\)](#)

また、濃縮廃液を貯留しているタンク10基については、メーカー推奨値を超える連結管の変位は発生していないものの、濃縮廃液の性状等を踏まえ、全ての連結管を取り外し閉止フランジを取り付けることとして作業を進めている。

今回は、Dタンクエリアの濃縮廃液貯留タンクの連結管取り外し状況等を確認した。(図1)(写真1)(前回確認：[令和5年1月23日](#))

- ・前回確認時は、1箇所の連結管が取り外されていたが、今回、10箇所全ての連結管が取り外されて、閉止フランジが取り付けられていることを確認した。(写真2)
- ・連結管が取り外された一箇所において、取り付けられた閉止フランジの漏えい確認が行われていた。(写真3)
- ・令和3年2月及び令和4年3月の地震によるタンクの滑動で一部破損したDタンクエリアの内堰床面の防水塗装被覆は、まだ補修されていなかった。(写真4)
- ・雨除けカバーの改造工事が行われており、既存のカバーや支柱等が撤去されて、堰内に新たな支柱等が設置されていた。(写真5)



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)

Dタンクエリアの概観

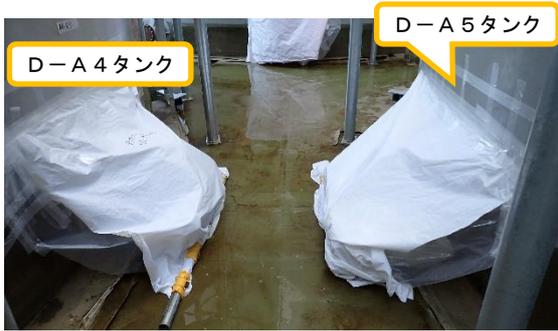
(北西側から撮影)

※エリアの西側10基が濃縮廃液貯留タンク



(写真2)

濃縮廃液貯留タンクの連結管の取り外し例



(写真3)  
閉止フランジ取り付け後の漏えい確認の状況（閉止フランジはシートで養生されている）



(写真4-1)  
防水塗装被覆の破損の例①



(写真4-2)  
防水塗装被覆の破損の例②



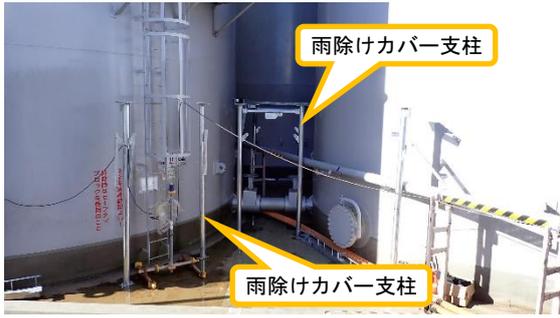
(写真5-1)  
雨除けカバーの撤去状況  
(東側から撮影)



(写真5-2)  
タンク天板の雨除けカバーの状況  
(前回(令和5年1月23日)北西側から撮影)



(写真5-3)  
タンク天板の雨除けカバーの撤去状況  
(今回(令和5年12月25日)北西側から撮影)



(写真5-4)

新たに設置された雨除けカバーの支柱

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。